

退任のご挨拶



碧天高く薄雲たなびく候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと、この3月31日をもちまして定年退職いたしました。1974年に工学部の助手として奉職以来2001年までの26年間は工学部に、

2001年から2014年までの14年間は沿岸域センターに所属しました。学生時代も含めると46年もの間、熊大に通ったことになり、今更ながら長い期間であったと感慨深いものがあります。

海岸環境工学分野を専門として、海岸の保全と防災に関する基礎研究から、環境評価と環境再生に関する技術開発、および環境と防災の調和等に関する応用研究まで広範に行ってまいりました。工学部および沿岸域センターでの在職期間を通じて、研究中心の仕事に携わる事ができましたこと有り難く思っております。ことに、2001年に全学共同施設として新設された「沿岸域センター」の設置に深く関わり、唯一の工学系教員として、センターの研究教育活動に携わり、発展に貢献できたことは個人的にも1つの誇りであります。現在、合津マリンステーションが全国共同利用施設に認定され、新たに調査船「ドルフィンSC」が配備されるなど、沿岸域センターの

更なる教育・研究活動と社会貢献が期待されていることは、真に感慨深いものがあります。

奉職の間には、1999年9月の「不知火海高潮災害」や2000年冬の有明海ノリ不作に端を発する「有明海・八代海の環境問題」など数々の地域社会の「環境と防災」問題にかかわり、多くの経験と教訓を得てきたことは、後の地域社会貢献への大きな財産となっております。今日まで大過なく仕事を果たす事ができましたのも、ひとえに多くの皆様方のご厚情とご支援によるものと心から感謝いたしております。改めまして厚くお礼申し上げます。

退職後は、現在進行中の「八代海再生プロジェクト」研究の特任教授として勤務するとともに、国（環境省、国土交通省など）の「有明・八代海等再生」委員会等を通じて「海の再生」やNPO活動（みらい有明・不知火）など、“やり残していること”，“やらねばならないこと”に専念できることを楽しみに過ごして参りたいと思っております。

今後におきましても、変わらぬご指導、ご厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご発展を心よりお祈りし、沿岸域センターの教育・研究、地域社会へのより一層の貢献を期待致しまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

滝川 清

お知らせ

市民公開講座

「海の生き物と化石の観察会」のご案内

今年の市民講座は、体験実習を中心に、熊本県水産研究センターと共催で実施します。観察会を通して、干潟沿岸域の環境について皆さまと共に考えたいと思います。皆様の参加をおまちしています。

日時：2014年10月8日(水)、9日(木)

定員：両日とも、それぞれ25名(先着順)。2日間参加の場合、合津マリンステーションに宿泊も可能(実費徴収)

場所：上天草市(集合から解散まで貸切バスにて移動)

参加費：無料

スケジュール

10月8日

熊本県水産研究センター見学

化石の採集と観察Ⅰ

ハクセンシオマネキの行動観察Ⅱ

(宿泊者は引き続き、ハクセンシオマネキの行動観察Ⅰ)

10月9日

有明海・八代海の環境についての解説

化石の採集と観察Ⅱ

ナメクジウオ飼育個体や海岸動物の観察

ハクセンシオマネキの行動観察Ⅱ体験実習

申し込み

9月19日(金)までに、電話、ファックス、電子メールのいずれかにて下記にお申し込みください。

ファックス、電子メールの場合、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、受講希望日をご記入ください。

問い合わせ先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1

熊本大学自然科学系事務ユニット

研究センター支援担当 中島・和田

TEL:096-342-3143(直通)

FAX:096-342-3010

E-mail:szk-center@jimu.kumamoto-u.ac.jp

連絡先：〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター

事務連絡先：熊本大学教育研究推進部自然科学系事務U

TEL：096(342)3143 FAX：096(342)3010

HP：<http://engan.kumamoto-u.ac.jp/index.html>